



今に生きる

令和2年度 日進市立日進西中学校 学校だより 冬休み号



いつか『雪かき』ができる人に……

12月も残すところ1週間……。例年ならば♪雨は夜更け過ぎに…雪へと変わるだろう♪(クリスマス・イブ：山下達郎)の楽曲が繰り返し流れ、街はクリスマスモードに包まれ、この1年が終わるという充実感に満たされている時期でしょう。たぶん多くの生徒・保護者の皆さんもクリスマス・お正月の準備にせわしなく身体を動かしていた昨年までの2学期末でした……。

ところが、この「コロナ禍」です。「3密」を避けることが求められ、学校でも家庭でも思い切ったことができない制限に心悩ませる日々が続いています。

本校の2学期のキーワードは『生きる』でした。8月25日の夏休み明けの学校だよりで、

2学期のキーワードは、『生きる』です。様々な行事が続くこの2学期、学級や学年で、そして、学校全体で「今に生きる」活動を目指していきましょう。この「コロナ禍」で自分自身が『生きる』ことは大切です。でも、それ以上に周りの人と共に『生きる』ことも考えていきたいです。人と人が関わりあって『生きる』時代。「新しい生活様式」を意識した上で人と人の関わりをつなぎながら『生きる』生活。学校は、それを見つけていく場所です。見つけましょう、みんなで『生きる』学校……。

と生徒の皆さんに呼びかけました。どうでしたか？すべてが満点の評価ではないけれども、本当に多くの生徒たちが、人と人が関わり合って生きる時代の中で、新しい生活様式を意識し、みんなで生きる学校生活を実践することができました。

先週開催した「合唱コンクール」が、その集大成として心に刻まれています。学級の中では合唱に向かう姿勢に微妙な温度差が生じたときもありました。それでも生徒たちは素敵な合唱をつくろうと同じ目標に向かって熱心に練習を重ね、みんなでまとめることができました。緊張のステージ発表までに非常に得ることが多かった時間でした。まさしく「今に生きる」ことを実感できたのではないのでしょうか。

ただ、この「コロナ禍」はまだまだ出口が見えません。「ワクチン接種」の明るい話題が上るようになりましたが、まだまだ感染者数の増加はとどまる気配が見えません。

これから新しい年を迎えるにあたって思うことがあります。この季節、雪の話題が日本全国から届くたびに「雪かき」のことが頭に浮かびます。哲学者：内田樹（たつる）氏は著書『下流志向』の中で、「雪かき」について次のように語っておられます。

もうすぐ東北では雪の季節になる。大雪になると除雪車が出動するが、住宅地や山間地域の狭い道では、地域の誰かが、誰に頼まれたわけでもなく、率先して雪かきをしているという。

しかし、雪かきをする人は、雪かきをしているところを多くの人から目撃されることはない。人々が仕事に行く時には既に雪かきは終わっている。そのきれいに雪かきされた道を、みんな当たり前のように歩いて出勤する。中には「俺が起きる前に誰かが雪かきをしてくれたんだ」と思いながら職場に急ぐ人もいられるかもしれないが、誰がしたか分からないので、その感謝の気持ちが言葉になることはない。それでも、誰かがそれをしなかったら、凍りついた雪に足を滑らせて転んだり、ケガをしたりする。つまり、雪かきとは誰かを喜ばすためにするのではなく、その道を通る人たちがいつものように普通に歩いて行けるようにやっているのである。

誰も見ていないし、誰からも称賛されることはない。それでも、その作業を誰かがやらなければならない。そういう人がいることで、実は社会はうまく回っているのだ。そして何事もなく、平常通りに人々が仕事に行ってしまったのを見届けた時、雪かきした人はものすごい充実感を感じるのだろう。

もっと言うと、世の中の仕事というものはそういうものかもしれない。いや、仕事だけではない。消防団や民生委員、自治会役員、夜回りなど、何十年もやっている人たちがいる。

この2学期にも、朝早くに学校に来て廊下の窓を開放し換気に気をつけてくれた人がいます。困っている人にそっと手を差し出して声を掛けてくれた人がいます。冷たい水に触れながら牛乳パックを洗ってくれた人、夏の暑さや冬の風の冷たさに耐えて外庭をきれいにしてくれた人たちがいます。

それだけではありません。私たちが知らない学校現場を支えてくれた「雪かき」の人たちに感謝します。そして、同じようにこの「コロナ禍」でずっと私たちを守ってくれている医療関係・保健所に従事

する方々の活躍にも心から感謝の気持ちを伝えます。ありがとうございます。

令和2年2学期、保護者の皆さまにも様々な行事や活動を支えていただき、心身ともに健やかで賢くたくましい881名の西中生を育てていただきましてありがとうございました。

明日からの「冬休み」。学校で培った「生きる」精神が、更に家庭・地域の中で磨かれていくことを願っています。そして、新しい年が希望に満ちた明るい年になりますよう祈念しております。

お身体に気を付け、良い年をお迎えくださいませ。

(文責 校長 平山 雅之)

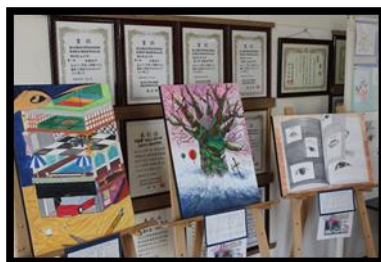
活躍する西中生！ ～表彰の記録～

- ライオンズ賞 近藤 梨音
- 吹奏楽部 第26回日本管楽合奏コンテスト 特別表彰
- 男子ソフトテニス部 愛知地区新人大会 団体の部 優勝
愛知地区1年生大会 1位 駒・熊崎 ペア
2位 堀・百武 ペア
- 美術部 中学生イラストグランプリ 2020 ブロック大会 奨励賞 松岡 彩
- サッカー部 愛知県中学校(U-13)サッカー選手権 愛知地区予選大会 優勝
- 女子卓球部 愛知地区中学校交流卓球大会2位トーナメント 1位 日進西中Aチーム
- 美術部 力作コンクール
イラストキャラクター部門 大賞 浅井 優奈 力作 宇津木 愛凜
審査員特別賞 松岡 彩・西桐 怜香
彩色美術部門 審査員特別賞 岩山 えりふ

作品展示 第3弾！！

作品展示の第3弾です。今回は、美術部の皆さんの作品と1年生の家庭科「ティッシュケース」の一部を掲載します。どれも目を見張る力作です。すばらしい作品をご覧ください。

【美術部員の作品】



【ティッシュケース】

